

雲形ベンチが作るゆるやかな居場所



■カフェスペースの木質化

大きな木製のベンチは雲のように自由な形をしています。ベンチは小さな木片を敷き詰めたようなテクスチャーで、**木そのもの**といった質感です。周囲の展示パーティションや自販機コーナーや丸テーブルなどと相まって**一体感のある木質空間**となっています。

■様々な居場所

ベンチの緩やかなひだが、**囲われた場所**や**開けた場所**など、様々な居場所を作っています。利用者は好きな場所に居場所を定めて座ります。大きなベンチを共有しつつも、自由にくつろぎます。

■自由なカフェスペース

既存の硬質で重厚な空間を、沢山の木を使うことでリラックスできて暖かみのある場所にしようとした。ベンチの**緩やかな曲線**や**自由に移動できるテーブル**や**回遊できる動線**は、誰でも気ままに利用できる雰囲気を作ります。このカフェの自由な雰囲気は活用の展開にもつながると考えます。



自販機コーナー

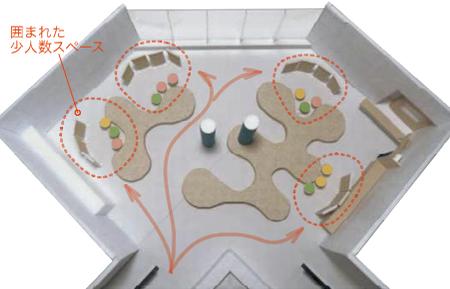
計画エリアの全体イメージ

カフェスペースの活用バリエーション



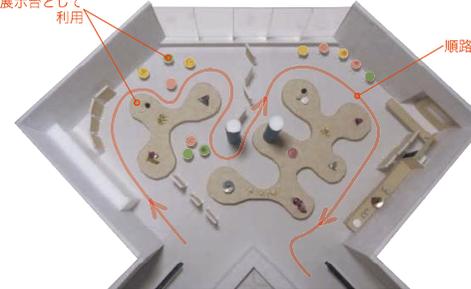
① 日常での利用

ベンチが雲形に凸凹することで、色々な場所が作られる。利用者は好きな場所に自由に座る。テーブルも自由に移動して利用する。



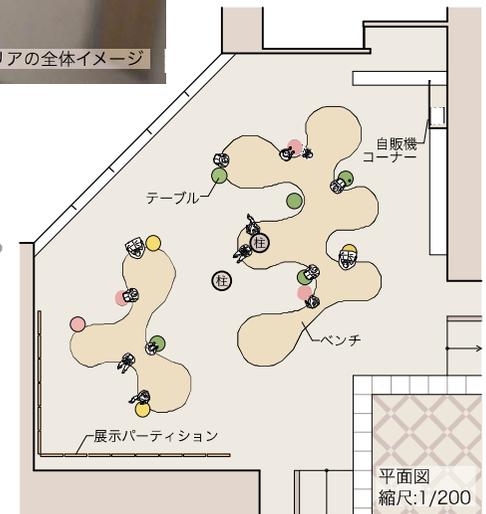
② ワークショップ開催

ベンチの凸凹と展示パーティションを組み合わせ、複数の囲まれたスペースをつくる。ワークショップに適した少人数グループの居場所ができる。



③ 展覧会開催

パーティションとテーブルを移動させて一筆書きの順路を作る。ベンチやテーブルは展示台に様変わりする。



平面図
縮尺:1/200